



特に目的があるわけではないけど、ぶらっと来てみたら、気になることに会える場所。このコーナーでは毎回、NICライブラリーを紹介します。

SDGs コーナー OPEN

NICライブラリーに「SDGsコーナー」を新設しました。今後このコーナーでは、SDGs関連のおすすめ本を皆さんにご紹介していきます。

とはいえ、SDGsが現在そして未来の暮らしにとって大事だとぼんやりとわかっていても、「具体的に何をしたらいいの?」という方も多いのではないのでしょうか。

SDGsを取り入れる動きは、政府、NPO、企業にもどんどん広がっています。あるコンビニが、地域の家庭で余った食材を回収し、必要な人たちに届けるシステムを生み出し、全国規模で展開されている事例もあるようです。このように、個人として、企業として、社会の一員としてなど、様々な視点でSDGsとの関わり方を考えてみるのもおもしろいかもしれません。SDGsとは、地球上のすべてを持続可能にしていくために、暮らしの中であなたが見つけた「小さな幸せ」を他の誰かにつないでいくこと。そう考えたら、楽しいアイデアが生まれそうですね。

ぜひNICライブラリーで、あなたが興味をもった視点から関連図書を探してみてください。NICのウェブサイトから蔵書検索もできます。



—SDGsは、この本を手にとったあなたのための目標なのです。—

「世界がぐっと近くなる SDGsとポクラをつなぐ本」 (池上 彰[監修] 学研プラス 2020年発行)より



▲蔵書検索はこちら



▲Facebookおすすめ本も紹介中!



留学生の地域交流

～女性演芸大会で歌を披露しました～

名古屋学院大学大学院 外国語学研究科国際文化協力専攻 修士課程1年生 孟醒さん(中国出身)

レンシーニーヘンガオシン
认识你很高兴
お会いできてうれしいです。



7月13日、港区女性団体連絡協議会(会長:田島 多津子氏)が主催する「港区女性演芸大会」が港区役所講堂で行われました。3年ぶりの開催となった同大会は、「名古屋みなと祭」の協賛として1964年から始まった歴史のあるイベントで、例年、港区内の学区女性会の皆さんが華やかな踊りや歌などの演目を披露しています。また、地域交流の一環として、国際留学生会館(以下「ISC」)の留学生も参加しています。今回は中国出身のお二人。そのうちのお一人、孟醒さんに感想などを伺いました。



▲「時の流れに身をまかせ」を二人で熱唱。(左が孟さん)

私は2016年10月に来日し、現在は大学院の修士課程で、世界のグローバル化や国際協力などについて学んでいます。

ISCへの入居は昨年4月。今年4月

からはチューター*として、日常生活など、在館留学生の相談に応じしています。

7月に行われた女性演芸大会には、もう一人の留学生と一緒に参加しました。中国語と日本語の歌をそれぞれ1曲ずつと、最後に、日本でも馴染みのあるテレサ・テンの曲「時の流れに身をまかせ」を二人で歌いました。

歌うことが大好きな私は、大会当日を心待ちにしていました。それでも、女性会の皆さんによる華麗で美しい踊りや民謡などを目の当たりにすると、自分たちの出番が迫るにつれて緊張感も高まってきました。その心持ちのまま舞台上上がった私たちでしたが、田島会長が優しく話しかけてくださったおかげもあり、落ち着いて伸び伸びと歌うことができました。また、日本の伝統芸能に触れ、大好きな日本を再発見できる機会となりました。

これからも自分の特技を生かしながら、地域の皆さんとの交流の時間を大切にしていきたいです。

*ISCにおいて留学生と生活を共にし、日常生活など、在館留学生の相談に対応、助言するほか、ISCの事業や運営に協力する学生。

国際留学生会館とは…

NICが2001年から管理・運営している、留学生専用の宿泊施設(名古屋港区)。居室90室のほか研修室や和室、体育室などを備え、100名の留学生が生活できる。日本文化理解講座の開催や各種相談・情報提供、地域住民との交流などを行っている。



～やさしい地球を引き継ぐために～

名古屋を拠点に、環境保護の分野で活動するNPO法人Happy Planetの理事を務めるフランク・カトリンさんに、同団体の活動や自身の想いについてお話を伺いました。

ドイツ出身のカトリンさんは、日本文化に興味をもち、高校時代に短期で初来日。その後、留学生として再来日し、東京の大学を卒業して就職を機に名古屋へ。現在は、一般企業で働きながらHappy Planetの活動にも従事しています。



NPO法人Happy Planet
フランク・カトリンさん

私たちの団体は、愛知県を中心に環境や社会問題を知るきっかけを提供しながら、多様性を認め合い、「地球にやさしいマインド」をもって活動しています。参加者は主に学生や社員のほか、親子の方々で、年齢層も小学生から60歳まで幅広く、国籍も豊か。最近はSDGsに興味をもつ人も多くなり、環境や社会問題をこれから学んでいこうとする人やお一人での参加も見られます。誰でも気軽に、楽しく参加できます。主な活動は次の4つです。

実際に参加してみました! Nagoya City Clean Up ゴミ拾い

10:00集合 @久屋大通公園
カトリンさんによる分別袋の説明



2グループに分かれ、ゴールの白川公園へ向けていざゴミ拾い!



11:30 @白川公園
ゴミを計測 総量87.9kgも



一番多かったゴミは?ゴミを減らすには? みんなで意見をシェアしました。



お疲れさまでした!



Clean Cuisine



名古屋のヴィーガン*/ベジタリアンの食文化を知ろう!

地球カフェ



環境や社会問題について気軽に話そう!

服の交換会



服を交換し、資源の循環を。服はもらうだけでもOK!

一人の百歩よりみんなの一步

私たちは個々人の「好き」や「楽しい」を大切にしています。環境や社会問題自体はネガティブなことでも少なくないですが、その解決策の中で自分が素直に好き!楽しいと感じることだけを少しずつ続けていくことが持続可能な活動につながるからです。一度やって終わるのではなく、周りに合わせず、無理せずです。

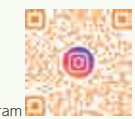
「好き」や「楽しい」にこだわる理由は、自身の経験から、環境に対する価値観を他人に押しつけるような自分の言動に気づいた時、「他人ではなく自分が変わる」ことが大切だと学びました。人は皆、興味やできることが違う。私はヴィーガン生活を好むけれど、他の人の興味はゴミ削減かもしれません。それぞれの「好き」が重なって、活動に大きなインパクトを与えることに気づかされました。そうして私個人の活動に共感する仲間が増えたことで、Happy Planet を法人として設立することができたのだと思います。

Happy Planet は「仲間づくりの場」でもあります。参加者の国籍や意見が多様な環境のもと、私たちが常に心掛けていることは互いの意見を「否定しないこと」。「精神的な安全」を確保し、誰にでもオープンでやさしい空間をつくり、楽しく活動するためです。嬉しいことに、イベントで仲良くなった参加者同士で登山に行くなど、一時的な出会いで終わらずに、その先の関係性への構築につながっています。

「外国人」ではなく「私」として…

私は名古屋が大好き。東京での暮らしも経験しましたが、特に名古屋の人たちの温かさを感じます。活動を通じて、この街を大切に思う皆さんの気持ちも伝わってくるからです。一方、日常生活では、「外国人」というフィルターで見られることが多く、「自分は日本社会の一員になりにくいのだろうか」と感じることも。例えば日本語で話しても英語で返ってきたり(そもそも私の母語はドイツ語)。いくら日本語が話せてもいつまで経っても私は「外国人」。ドイツの首都ベルリンには、アジアからの移民が多く暮らしています。彼らに英語で話しかける行為は差別と見なされているため、見た目によって使う言語を変えることはありません。その良し悪しとは別に、そうしたことが人々の間で常識となっているのです。大好きなこの街で、「外国人」ではなく「私」として地域社会の一員であることを感じながら生活を楽しくしていきたいです。また、Happy Planetとしては他団体や自治体と協力し、活動の幅を広げていきたいと思っています。未来の子どもたちが「やさしい地球」を受け継いでいけるように。

イベントの様子や情報ははこちらから!



Instagram



HP

*完全菜食主義者のこと。肉や魚類のほか、卵や乳製品等の動物性食品の全般を避け、野菜や果物を中心とした食生活を送る人たち。